

2014年度 第4回 常任幹事会議事録
・敬称略

●日時
2015年1月31日(土)
15:00~17:00

●場所
阿佐ヶ谷美術専門学校 521教室

●出席者
秋元圭一〔会長〕
日野高〔副会長〕
甲斐光省〔副会長〕
土橋洋一〔常任〕
三好耕之〔常任〕
西田一成〔常任〕
桜井裕美〔常任〕
浜村圭一〔常任〕
白石龍子〔常任〕
小山弘〔常任〕
富澤和治〔常任〕
山田直毅〔常任〕
藤原成理〔常任〕

●委任欠席者(カッコ内→代理人)
大村政幸(秋元)
松岡和彦
勝山昌幸
永吉昭浩
大野美菜子(秋元)
角谷祥子(松岡)
軽込孝信
上村晴美

常任幹事 出席者 13名
委任幹事 欠席者 8名
(常任幹事21/25名 定足数成立)

●議事進行:日野高

●議事録
書記:長根小夏

校正・制作・文責:
秋元圭一、日野高

■議題

- 1 卒業制作展・同窓会賞・卒業式後のパーティについて
- 2 コラボ企画について
- 3 その他・意見交換

■はじめに

出欠確認の後、前回会議の議事録は承認を受けてasabi-netへアップ予定です。

1月31日(土) 2014年度第4回常任幹事会

- ・出欠確認
※30日AM3:00時点の返信の集計です。
常任幹事出席12名、委任欠席8名(一任6名・代理指名2名)で、
会則第38条により、本会議は定足数が成立しています。
追加の返信は議事録にて反映いたします。
- ・前回議事録の承認
承認10名で承認とする。

秋元会長からの挨拶

- ・会議でのお茶菓子の買い出しをする人を決めるのがギリギリになり負担が大きいため、次回からは止めていく方向で検討したい。理解と協力をお願いします。

■議題 1 卒業制作展・同窓会賞・卒業式後のパーティについて

同窓生在校生支援委員会の山田委員より、渡部氏との打ち合わせと大村事務局長から送られた資料を元にまとめた、準備状況を報告いたします。

まず始めに渡部先生が今までどうやって準備を進めてきたのかを確認することにしました。
メールでやりとりをしたことをもとに話していきたいと思います。

- 1.案内状(DM) 発送のため学校へ同窓会名簿を提出。
小山氏より同窓会名簿を取り寄せる(すでに小山氏が提出済みとのこと)
- 2.幹事の選出。各科長を通じて説明などをしてもらう
- 3.同窓会賞について
 - ・投票箱や鉛筆の確認
 - ・アンケート制作、集計、発表
 - ・卒業式に間に合うように同窓会賞の準備、賞状、賞金の手配
- 4.卒業パーティの助成
等々

- ・同窓会賞の人数について、キャラクターデザイン科が増えたため同窓会賞の数を8名に増やす。
- ・日野:今年はLD科の卒業生がいなくて同窓会賞の賞は増えない?
- ・藤原:卒業会場案内図などに同窓会賞の投票をやってますという知らせを入れておいたほうがいい。
- ・山田:同窓会賞の受賞者を学生が知るの卒業式当日なんですか?
- ・秋元:そうですね。
- ・山田:新しい幹事への説明などはいつやるのですか?
- ・秋元:夕方のパーティで学生の幹事が皆の前に出て挨拶してもらう。
当日の進行係を決めないといけない。

アサビブリッジセミナーについて

- ・秋元:前にアサビフェスタでセミナーができなかったときは、卒制展でアサビブリッジセミナーを組み込めないかという話はどうなっていますか。
- ・浜村:今考えている企画は、学校見学会、作家さんの交流、紹介。
開催するなら土日で場所はアサビの教室を使いたいと思っています。
2月21日に卒業生内でレセプションパーティ、22日に卒業生のトークイベントがあるので、出席して企画を決めたいと思います。
それをもとに皆さんの意見を聞きたいと思っています。
- ・浜村:困っていることは、そろそろ人選が難しくなっている。
- ・日野:人選を先に決めるのではなく、講演テーマを決めてからそれにふさわしい人を探すのはいかがか?
同窓生に限らず外から講演する人を呼んでもいい。
- ・浜村:外から講演する人を呼ぶのもありだけど、予算の都合があった。
- ・秋元:予算および同窓生でなければいけないという制約はもとも無いはずである。
ただ予算作成時に案が決まっていなくて前年通りとしかできないのが現状である。
決定する前のある程度見積もりをしてくれれば、予算を増やすこともできる。
具体的なことが決まってくれないと、予算をたてるのが難しいので計画的に案を立ててほしい。
- ・日野:予算は多少オーバーしても、その価値があるならいいと思う。
そのために予備費というものがある。
- ・西田:今まで講演の謝礼金というのは金額がだいたい決まっていたが、
外部の人に講演を頼むときに謝礼金の限度はあるのか。
- ・日野:限度額は特に決まっていなくても、普段より多くなるにしても一定の範囲がある。
- ・土橋:普通は講演を頼めそうな人のリストを作っておくもの。
- ・浜村:それは卒業生のリストですね。
- ・富澤:前に講演をお願いした人にもう一回やってもらうのもありだと思う。
- ・浜村:レスポンスの問題がつかまとう。
自分たちがよければいいという訳ではなく、学生や他の人たちがたくさん見に来てくれるといい。
- ・日野:一般論的にはバラエティに富んでいるほうがいい。
同じ人であれば内容が前回とは違う等が望ましい。
人気がある人だから講演をお願いするっていうのもなんだか違う。
- ・秋元:セミナーの話に集中しているが、セミナーだけでなく卒業展の中のイベントなども含めて検討してもらいたい。
- ・秋元:ひとまずは浜村氏にレセプションパーティとトークイベントを見に行ってもらって、それから今後の方向性を考えましょう。

■ 議題2 コラボ企画について

小山氏より『さんよん会2』についてのご報告となります。
プリント一枚配布。

展示会期 2015年1月24日〔土〕16時30分～19時30分

開催場所 阿佐ヶ谷美術専門学校・えん屋

参加費 4,500円

- ・小山:案内発送278名(前回170名)、参加者13名(前回14名)、案内に対する返信率134名48%(前回85名50%)、等々
収支(仮)35,000円(計画予算50,000円)
- ・小山:前は返信ハガキを封筒に入れていましたが、経費削減のために封筒をなしにしました。
そして返信ハガキに近況を書いてもらう欄を追加したところ、さんよん会に参加するしない関わらずみなさんたくさん書いてくれました。
その中にはやっぱり1月開催だと出席するのが厳しい、という声もありました。
- ・秋元:前回のさんよん会と今回のさんよん会で2回参加したひとは何人いたか?
- ・小山:かぶってない人は6～7割。
- ・秋元:案内送付が増えているが準備等の負担は増えているか。
- ・小山:この位の増加ならさほど変わらない。
- ・三好:各学年の幹事さんに早めに連絡して、名簿を作ってくれないか聞いたほうがいい。
- ・秋元:今はコラボ企画の中のさんよん会というくりになっているが、さんよん会は独立させたほうがいいかもしれない。
コラボ企画は小山氏、甲斐氏、三好氏の働きがとても大きい。負担がかかりすぎないようにしたい。
- ・三好:さんよん会を機に同期会など広がってほしい。
- ・西田:今回さんよん会に参加するにあたり、同学年に声がかげづらいというのが自分の中にあった。
それと返信ハガキが学校宛ではないので不安がるひともいた。
誰か代表者の名前がハガキに書いてあるといいんじゃないか?
- ・秋元:今、さんよん会は上の学年から順を追ってやっているが、このように進めていなくてもよいと思う。
名簿の不明率の多い学年や人数の多い学年があるため、そこをピックアップして状況を見るのも必要と考えている。
- ・藤原:さんよん会の成り立ちを知りたい。
さんよん会はプロジェクト化したほうがよさそう。
同窓会をやりたい学年を同窓会ニュースでつのってみたいか?
- ・秋元:さんよん会の始まりは甲斐氏がアサビ初期の人たちの話を聞いてみたいというのがきっかけ。
何度も言っていると思うが、開催する学年が中心になり同窓会がサポートをするのが望ましい。

■ 議題3 その他・意見交換

次回の常任幹事会に向けて

- ・秋元:年度末になるので各委員会のおおよその14年度収支を報告してください。
それと来期の活動の希望を概算で構わないので話してほしい。
私も全体の概算予算を報告予定です。